動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒280 千葉市要町2番8号（動力車会館）
電話｜（鉄電）千葉 2935・2936番
（公）千葉（22）7207番

92.1.28 No.3529

第一波・第二波公判闘争勝利！

1・30総決起集会へ！

現在全支部・全組合員が展開している、「解雇無効＝地位確認判決を求める要請書」（団体署名）運動を広範にまきおこすことと共に、一・三〇動労千葉総決起集会の成功と同日集会後行う千葉地裁への要請行動は、この一波・二波闘争を勝利するために決定的に重要です。

裁判の状況は、今年度で裁判長が交代時期を迎えていることもあり、四月以内に一審判決が出されることが予想されます。

われわれは、大衆的に裁判所を包囲し、今日の司法反動化＝昨年一二月の「宿舎明け渡し公判」反動判決、残業拒否による解雇を正当とした最高裁判決などの状況を見ればわかる通り、けっして楽観できる状況ではないことを肝に命じ、総決起しなければなりません。

とりわけ、この一波・二波公判の裁判長によって、「宿舎明け渡し公判」の反動判決が言い渡されていることもあり、さらなる闘いの強化を勝ちとらなければならないと言えます。

そして、この公判闘争の帰趨は、JR情勢を決定的に転換させる意味を持っています。

分割・民営化の矛盾がいたるところで噴出し、バブル崩壊に直撃されて土地・株の放出もできず、一方で、JR総連の分裂がとめどもなく進行している。さらに言えばいまだに労働委員会命令を履行しないJR当局の異常性がますます社会的に指弾され、もう一方で「JR五万人体制」攻撃によって、JRで働く労働者の怒りは極点にまで達している。

問題の原点はどこにあったのか、「戦後政治の総決算」攻撃の中心軸としてあった、「分割・民営化」攻撃に端を発する、国鉄労働運動破壊攻撃にあったと言えるのではないだろうか。

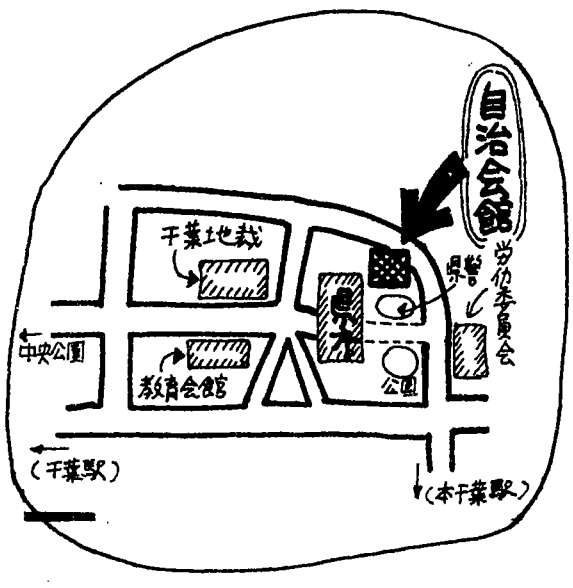
全ての国鉄労働者の気持ちを代弁したと言える、一波・二波の闘いこそ、国鉄労働者の魂と言うべきものである。

われわれは全解雇者の解雇無効判決を、自らのものとして闘いとらなければならない。そしてこの闘いこそ「JR五万人体制」を根底的に粉砕する道でもある。

一・三〇動労千葉総決起集会に全力で結集しよう！

一波・二波公労法解雇公判闘争に勝利しよう！

「解雇無効」の勝利判決をかちとろう

第一波・第二波スト
公労法解雇撤回！
一・三〇動労千葉
総決起集会

日時　一月三〇日（木）一三時
場所　千葉県自治会館・ホール
動員　各支部とも全力動員